



平成 30 年 10 月 22 日

各 位

広島市安佐南区祇園 3 丁目 28 番 14 号
株式会社 アスカ ネット
代表取締役社長兼 C O O 松尾 雄司
(コード番号: 2438 東証マザーズ)
問合せ先: 専務取締役 C F O 功野 顕也
電話番号: 0 8 2 (8 5 0) 1 2 0 0

樹脂製 ASKA3D プレート、バージョンアップに成功

～輝度や結像品質が大幅に向上～

当社はエアリアルイメージング事業において、空中結像を可能にするプレート（以下、ASKA3D プレートといいます）の開発、生産に取り組んでおりましたが、この度、従来に比べ高品質かつ高輝度の空中結像を可能にする樹脂製 ASKA3D プレートの開発に成功し、11 月より新バージョンとしてサンプル供給を行います。

1. これまでの経緯について

樹脂製 ASKA3D プレートの量産体制の確立は積年の課題であり、量産を前提とした有力な手法を開発し、その試作を進め、本年 6 月より一定程度の品質を確保したサンプル品を供給開始いたしました。一方、ガラス製 ASKA3D プレートによる空中結像と比べた上で、輝度や結像品質を向上してほしいという要望が多く、量産試作への移行よりも品質改善への取り組みを優先して進めてまいりました。

2. バージョンアップについて

結像品質や輝度に大きな影響を与える成型工程において、金型の再改良や離型技術の開発を進めるとともに、他工程においても生産方法や使用素材を改善することにより、バージョン 1 に比べ、輝度や結像の鮮やかさ、飛距離、歪みなどが大幅に向上した樹脂製 ASKA3D プレートの開発に成功しました。

今後はサンプルの供給と並行して、量産試作段階へと進み、品質の安定、歩留まりの向上、生産手法のさらなる改善を進め、量産受注があり次第、量産が可能な体制を構築してまいります。

3. 今後の展開

樹脂製 ASKA3D プレートは、ガラスに比べ低コストかつ多量の供給を指向しており、センサーとの組み合わせなどにより製品に組み込んでの活用が見込まれます。触らないタッチパネルとして、11 月に深センで開催される C-touch Shenzhen や 12 月に幕張メッセで開催されるファインテック

ジャパンに出展し、タッチパネル市場における可能性を探るとともに、販売促進してまいります。

4. 今後の見通し

樹脂製 ASKA3D プレーットのバージョンアップによる平成 31 年 4 月期の業績への影響は軽微であります。なお、業績に影響が生じる可能性があれば、速やかに公表いたします。

Ver.1



Ver.2



(比較画像：新バージョンプレート動画は <https://aska3d.com/ja/news/181017.php> をご参照ください)

以 上